

町民の声への回答

①研修体制の整備について

果樹は、剪定などの栽培技術の取得が難しい作物なので、鳥取県農業大学校、鳥取県農業農村担い手育成機構が実施する研修等を活用し、その後、JA果実部、地元の果樹農家と連携して実施研修体制を整備し果樹後継者の育成を図っていきたいと考えています。また、果樹の後継者不足は八頭町だけの問題でなく、鳥取県全体の問題としてとらえ、県の協力も得ながら町内空き施設を活用した果樹の勉強会なども計画していききたいと現段階では考えています。

②ブランド化、6次産業化の取り組みについて

ブランド化については、本町の特産品の競争力を強化するために、地域ブランド產品としての差別化や消費者の利益保護につながる、地理的表示保護制度の活用を検討していききたい。また、今まで以上に特産品のPR活動に力を入れていききたいと考えています。

6次産業化の取り組みについては、6次産業化へ意欲的な農業者、関係団体に対し、国・県・町事業を活用し援助を行い、特産品の開発や販路開拓、農産物の加工・販売施設の整備等を図っていききたいと考えています。

③後継者育成における背景と根拠について

現在、国・県の事業を利用し新規就農者の育成や就農支援を行っております。しかし、就農していただけるのは、コメ、野菜などが主で、なかなか果樹への就農者が出てこないのが実情であります。

果樹となりますと技術が必要となりますので、1年や2年では習得することが難しく、このあたりが果樹への就農が難しい部分だと思います。

そうした現状を踏まえ、総合戦略では年間1人を目指して取り組むこととさせていただきます。

ただ、現状を踏まえ計画を立てたわけですが、現在八頭町の果樹部門を担っていただいている各果実部の代表の方々からのご意見をうかがっている最中であります。

こうした段階の中で、良い方向性や施策が出てくるようだと、計画変更を行うよう考えておりますので、現状をご理解いただければと思います。